

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会総務課		■担当係	庶務係
■評価事業名称	奨学資金貸与事業			
■評価事業コード	400100 - 002	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	02 児童生徒への支援		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市奨学金貸与条例			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	経済的理由により就学困難な者へ奨学金貸与し、教育を受ける機会の拡充と人材育成のための支援を行う。貸与額 高校等 月10,000円、大学等 月30,000円			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	奨学資金貸与事業	高校・大学生等		H24年度貸与者 新規貸与者 23人 継続貸与者 81人 計 104人 貸与金額 35,760千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	47,518	47,361	42,686	35,782	
人件費	3,047	4,990	3,082	2,911	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	50,565	52,351	45,768	38,693	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	奨学金貸与者数(新規、継続分)	146人	143人	128人	104人	経済状況の低迷で奨学金を必要とする者は多いと思料されるが、申請者数は減少傾向にある。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

貸与希望者には全員貸与できたが、新規申請者が昨年度の6割程度となっており、アンケート調査の結果から、周知不足が原因の一つと考えられる。

問題点・課題等

申請者が昨年度の6割程度となっており、周知不足が原因の一つと考えられることから、進路指導時期に合わせた募集案内のリリースや、周知媒体を増やす等、効果的な周知を行う必要がある。また、平成24年度の奨学金返還金の滞納繰越者数は10人、2,820,000円となっており、督促や臨場訪問等を実施しているが、長期滞納者に対しては効果が上がっておらず、庁内他部署との連携が必要。連帯保証人の中には返還に必要な資力の無い者もあり、今後、貸与申請を受け付ける際に連帯保証人の資力の審査をする必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

経済状況の低迷により就学困難な者は多くいると見込まれることから、当事業は継続すべきと考える。